

イギリスの運転免許証事情

先日、日本の国際運転免許証が期限切れであることに気付いた。このままではイギリスで車の運転が出来ない。どうしたら運転出来るか調べてみると日本の運転免許証をイギリスの運転免許証に切り替えることができることが判明、早速情報元のロンドン中心にある日本大使館領事部に行き、私の日本の運転免許証が間違いなく日本の運転免許証であることを証明する翻訳証明書を取得することが出来ました。次のステップは申請書に日本の運転免許証と翻訳証明書、パスポート、写真、手数料£43 (6,600円) 分の小切手を添えてウエールズのスワンジにある DVLA (Driver and Vehicle Licensing Agency) という役所に郵送することです。念のため、DVLA に電話で確認すると申請後審査を経てイギリスの運転免許証を受領するまで4週間~8週間はかかると言われ、これでは一、二か月の間、車の運転が出来なくなるではないか・・・そこで、もっと早く取得する方法はないか聞いてみると、直接 DVLA に来て手続きを行えば、1週間で出来るとのことでした。早速、一昨日、ロンドンから列車とバスを乗り継いでウエールズの地方都市スワンジに行ってきました。

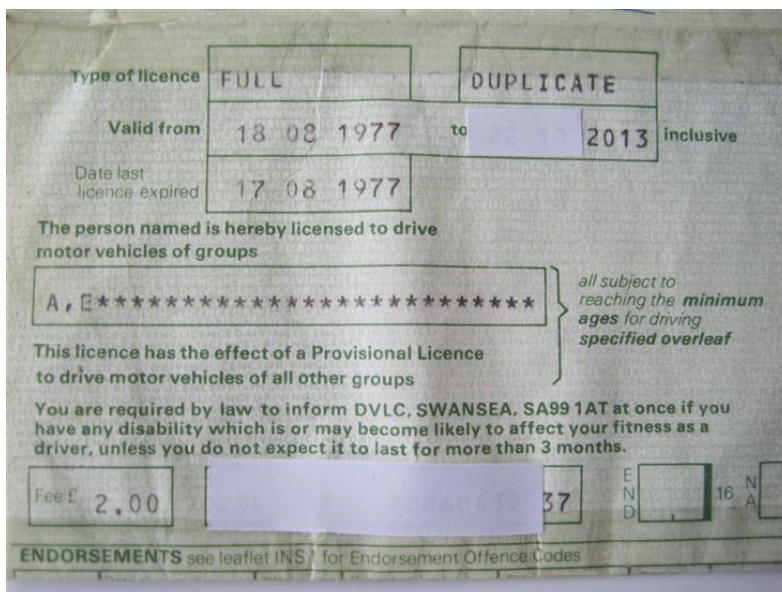
ロンドンの西行きのターミナル、パデントン駅を10時過ぎに発ち13時過ぎにスワンジに到着、約3時間の小旅行でした。駅前からバスでさらに30分、やっと DVLA の事務所に到着。早速、申請書に必要な事項を記入しパスポートや日本の運転免許証等を添えて窓口提出、手続きは10分程度でしたが、窓口で何時イギリスの運転免許証を入手できるか聞いてみると、"Five working days"と言われ、つまり週末を入れて一週間と言う意味なので、6月初めにはロンドンの滞在先に郵送されてくるはずでした。

さて、イギリスの運転免許証はかつては紙で写真はなくサイン入りでしたが有効期間は70歳の誕生日までで、その間更新はありませんでした。しか1973年にイギリスが EC (EU の前身) に加盟、イギリス人であれば EC 域内の往来がパスポート無しで可能になったが、写真入りの身分証明書の携行が義務付けられました。身分証明書と言えば運転免許証を思いおこしますが、イギリスの運転免許証は写真入りでなかったため、結局イギリス人はパスポートの携行を余儀なくされました。その後1988年に新規の運転免許証からは写真入りに切り替わり、有効期間は10年になりました。しかし未だに半数の人は1988年以前の紙の運転免許証を持っているのではと推測されます。私も1970年の赴任時に試験を受け、紙の運転免許証を入手し一度も更新することなく、70歳になった2013年に期限切れになりました。もちろん継続更新申請をすれば新しい写真入りの免許証の入手は可能でしたが、外国人の場合は条件の一つに永久滞在ビザ保持者が原則でしたので、私は該当せず、それ以来日本の国際免許証(有効期間は1年)を毎年更新してイギリスで運転しており、今日に至っています。

今回、たまたま運転免許証の件で DVLA に行く機会がありましたが、運転免許証の発行や更新、車検、新車登録、廃車手続き等の車に係わる一切の業務を行っている DVLA がウェールズの地方都市スワンジに在るのには驚きでした。調べてみるとイギリスでは国の機関、例えば国税局は北イングランドのニューキャッスルに、年金局は中部イングランドのウォルバハンプトンに在り、地方に分散させて雇用の創出を図ると共に、インターネットの発達で地方に国の機関が在ってもオンラインで業務の大半はこなせるので、メリットの方がデメリットを上回るとの判断から地方に分散させたのではないか、もしそうだとしたらイギリスの判断はさすがだと思います。(了)



1970 年に取得した私の写真のない紙のイギリスの運転免許証 (表)



1977 年に紛失し再発行され有効期間が 70 歳になる 2013 年となっている。



スワンジ郊外の広大な敷地にある **DVLA** のオフィス



スワンジ行き列車の明るく静かな車内（カーペット床に **Free WiFi** で **PC** 電源もありました）



スワンジを走っていたバスも **Free WiFi** でした。ちなみにロンドンのバスは **WiFi** 未設置です。